

番 号	16請願第15号 (即 決)
受理年月日	平成16年9月6日
件 名	「日の丸・君が代」の押しつけ反対に関することについて
提 出 者	小池 裕敏
紹 介 議 員	嶋崎 英治、大城 美幸、杉本 英騎
要 旨	
〔請願要旨〕	
<p>公立学校において、「日の丸・君が代」の強制が行われている。その強制のために、式典での扱いについて、「日の丸」掲揚、「君が代」斉唱方法まで、学習指導要領にもないことまで、事細かに決められ、監視のために教育委員会の職員を送り込む、学校ごとの報告書を提出させるなど、異常な事態となっている。本来であれば、人生の節目を祝い、新たに仲間として迎え入れる子どもたちや、学校を巣立つ卒業生を激励するはずの入学式や卒業式が、細かい実施方法に追われ、重苦しさを感じさせるものとなっている。</p> <p>こうした強制は、子どもたちや教職員の基本的人権、思想及び良心の自由、内心の自由を侵すものである。基本的人権や思想、良心の自由を保障することは、民主主義の前提であり、その保障なしに、健全な社会はつukれない。</p> <p>また外国人、とりわけアジアの子どもたちにとっては、かつての日本によるアジア侵略を思い起こさせる「日の丸・君が代」は、語るに尽くせない苦痛である。</p> <p>こうした押しつけは、反対した人への人事・成績、その他の不利益処分を伴い、「物言えぬ学校」をつくり出し、人生の節目を、素直に喜びたい子どもたちの成長の大きな障害になる。</p> <p>「日本の顔」である東京で、このようなすさまじい押しつけがあると、日本全体が思想、良心の自由を踏みにじっていると思われ、海外との交流にも少なからぬ影響がある。</p> <p>よって、「日の丸・君が代」の押しつけを即刻やめるよう求めるものである。</p>	
〔請願事項〕	

- 1 子どもや教職員に対するいかなる「日の丸・君が代」の強制も行わないこと。
- 2 「日の丸・君が代」とその押しつけに賛成することを、子どもや教職員の、入学、卒業、採用、昇進、その他の待遇の条件としないこと。
- 3 三鷹市議会として、上記の趣旨の意見書を提出すること。